

2019年度 授業計画

時期	1年A巡	単元	学科	教科名	自動車工学1A	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	基礎自動車工学		発行日	2019.3.6
総時限	14時限				教科担当	井ノ内・小畑・高開・稲・栗本・丸山・池田(岳)・安本

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当

自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車に関する力学、計算、製図等について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

1. 自動車の基本的な構造、構成部品を理解する。

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. 自動車の分類が出来、簡単な説明ができる。
2. 自動車の基本構造、構成部品、役割を説明できる。
3. 自動車に使用されている部品の機械要素を説明できる。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

筆記試験(100点満点)で60(70)点以上を合格とする。

5. 準備学習

基礎自動車工学の教科書を事前に読み予習を行う。四則計算等、基本的な計算が出来るようになる。

2019年度 授業計画

時期	1年B巡	単元	学科	教科名	自動車工学1B	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	基礎自動車工学		発行日	2019.3.6
			二級、三級自動車ガソリンエンジン			
総時限	10時限			二級、三級自動車ディーゼルエンジン		教科担 当
			二級講習用 製図編			

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当

自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車に関する力学、計算、製図等について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

1. 自動車に係る基本的な原理、原則を理解する。
2. 国家2級試験 工学分野の計算問題を理解する。

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. 自動車に係る基本的な原理、原則が説明できる。
2. 国家2級試験 工学分野の計算問題の説明ができる。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

筆記試験(100点満点)で60(70)点以上を合格とする。

5. 準備学習

A巡の四則計算問題を復習しておくこと。基礎自動車工学他、使用教科書を事前に読み予習を行う。

2019年度 授業計画

時期	1年C巡	単元	学科	教科名	自動車工学1C	
科目	自動車工学	教科書等 持参品			発行日	2019.3.6
総時限	07時限				教科担当	井ノ内・小畑・高開・稲・栗本・丸山・池田(岳)・安本

1. 実務経験のある教員による授業科目 **該当** 非該当
 自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車に関する力学、計算、製図等について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)
 1. 自動車に係る基本的な原理、原則を理解する。
 2. 国家2級試験 工学分野の計算問題を理解する。

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)
 1. 自動車に係る基本的な原理、原則が説明できる。
 2. 国家2級試験 工学分野の計算問題の説明ができる。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)
 筆記試験(100点満点)で60(70)点以上を合格とする。

5. 準備学習
 B巡までの工学計算問題を復習しておくこと。

2019年度 授業計画

時期	1年D巡	単元	学科	教科名	自動車工学1D	
科目	自動車工学	教科書等 持参品			発行日	2019.3.6
総時限	08時限				教科担当	井ノ内・小畑・高開・稲・栗本・丸山・池田(岳)・安本

1. 実務経験のある教員による授業科目 **該当** 非該当
 自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車に関する力学、計算、製図等について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)
 1. 自動車に係る基本的な原理、原則を理解する。
 2. 国家2級試験 工学分野の計算問題を理解する。

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)
 1. 自動車に係る基本的な原理、原則が説明できる。
 2. 国家2級試験 工学分野の計算問題の説明ができる。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)
 筆記試験(100点満点)で60(70)点以上を合格とする。

5. 準備学習
 C巡までの工学計算問題を復習しておくこと。

